

PowerTyper L5270

ラインプリンター 設置・操作ガイド



はじめに

このたびは、弊社プリンターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書はプリンターの正しい使い方や使用上の注意について説明しています。ご使用いただく前に、本書を必ず最後までお読みのうえ、正しくご使用ください。また、本書が必要になったとき、すぐに取り出せるように保管してください。

■ 重要なお知らせ

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容について万が一不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 規制、対策などについて

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

電源の瞬時電圧低下対策について

落雷等による電源の瞬時電圧低下対策に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

高調波ガイドライン適合について

プリンターは、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立正-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標値レベルに適合して設計・製造した製品です。

輸出管理規制について

プリンターを輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、お問い合わせ先にお問い合わせください。

保守用部品について

プリンターの保守用部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。

第5版 2012年9月

商標・略称について

- ESC/Pは、セイコーエプソン（株）の登録商標です。

その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

Copyright © JB Advanced Technology Corporation 2009–2012. All rights reserved.

プリンターを安全にお使いいただくために

安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
 - 装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
- これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

シンボルについて

安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。

 **警告** これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。

 **注意** これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

注意 これは、装置の重大な損害、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

【表記例1】（禁止事項）

 この図記号は行ってはいけないことを示し、中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。

【表記例2】（注意事項）

 △の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。

【表記例3】（強制事項）

 ●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

以下は、主な安全注意シンボルの例です。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死亡を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。



高温による傷害の危険性について記述していることを示します。



発火する危険性について記述していることを示します。



触れる事によって傷害が起こる可能性について記述していることを示します。



機器を分解することにより、感電などの傷害が起こる可能性について記述していることを示します。



一般的な禁止事項を記述していることを示します。

- マニュアルに従って操作や動作を
マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。
装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員をお呼びください。
- 自分自身でもご注意を
装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

警告



異常な熱さ、煙、異常音、異臭

万一異常が発生した場合は、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。



ケースカバーの取り外し

ケースカバーを取り外さないでください。内部に高電圧の部分があり、触れると感電の原因になります。



アース線の接続

感電防止のために、アース付きのコンセントに接続してください。接続しないと感電するおそれがあります。

- コンセントのN線がアースに接続されていることを確認の上接続してください。
- アース線は専門業者の施工したコンセントのアース端子に接続してください。



プリンター内部への異物の混入

通気孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



電源コードの扱い

電源コードは必ず付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したリショートや一部断線で、過熱して感電や火災の原因になります。

- ものを載せない
- 引っ張らない
- 押しつけない
- 折り曲げない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない
- 束ねない

 **警告**



プリンターの上に物を置く

花びん、植木鉢など水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると、感電や発煙、発火の原因になります。



電源プラグの抜き差し

- 電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
- 休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。



電源プラグの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で加熱し、火災の原因になります。

- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。
- 電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってから、差し込んでください。
- グラグラしないコンセントを使ってください。



落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災の原因になります。



使用する電源

使用できる電源は交流100Vです。

それ以外では使用しないでください。電圧の大きさに従って内部が破損したり加熱・劣化して感電や火災の原因になります。

警告



修理・改造・分解

本書の指示に従って行うオプションなどの増設作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。

特に電源ユニット内部は高電圧部が数多くあり、万一さわると危険です。



日本国外での使用

本プリンターは日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており、本プリンターは適合していません。



タコ足配線

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。



温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、発火や感電の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。



湿気やほこりの多い場所での使用

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



通気孔

通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。

内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。

 **警告**



揮発性液体の近くでの使用

マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、プリンターの近くで使わないでください。プリンターの中に入って引火すると火災の原因になります。



オプションの接続

オプション接続するときは、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類をプリンターから外してください。また、マニュアルの説明に従い、マニュアルで使用できることが明記されたオプションを使用してください。それ以外のオプションを使用すると、接続仕様の違いによる故障から発煙、発火、火災や故障の原因になります。



ポリ袋の取扱い

ポリ袋をかぶったりすると窒息するおそれがあります。特に小さなお子様のいる所では、取り出したらすぐにお子様の手の届かない所へかたづけてください。

注意



プリンター内部品への接触

使用直後のプリンターの印字機構部は、高温になっています。冷めるまで待ってください。触れるとやけどの原因になります。



アルミ電解コンデンサーについて

このプリンターに使用されているアルミ電解コンデンサーは有寿命部品です。設計寿命は、週日10時間使用で約5年です。寿命になると、電解液の漏れや枯渇が生じます。特に電源ユニットでの電解液漏れは、発煙の原因になることがあります。これらの危険を避けるために、設計寿命を越えて使用する場合は、有寿命部品単位で交換してください。また、業務用など昼夜連続運転相当では5年より寿命は短くなります。



金属などの端面への接触

移動するなど鉄板やプラスチックなどの端面に触れる必要がある場合は、注意して触れてください。けがをするおそれがあります。



不安定な場所での使用

- 傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。印刷中のプリンターは強い振動を発生するため、落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。
また、トップカバーをあけて消耗品の交換などを行っている時に、トップカバーが閉じてけがをするおそれがあります。
- プリンター本体は約90kgありますので、床の強度が十分でない場所や振動の発生しやすい場所で使用しないでください。
事前に必ず設置場所の床の強度を確認し、必要に応じて床を十分に補強してください。



目的以外での使用

踏み台など目的以外に使用しないでください。壊れたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。



ケーブルの接続

ケーブルは足などに引っかからないように、配線してください。足をひっかけると、けがをするおそれがあります。

 **注意**



接続端子への接触

ネットワークケーブルのコネクターなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。金属片のある場所に置かないでください。発煙したり、接触不良などにより故障の原因になります。



プリンターの移動

本プリンターは、本体のみで約90kgあります。プリンターを移動する場合はできるだけ専門の業者に依頼してください。

- プリンター本体を持ち上げて移動しないでください。壊れたり倒れたりしてけがや故障の原因となります。
- 移動する場合には必ず二人以上で移動してください。一人で移動すると腰などを痛めたり、けがの原因となります。



リボンセパレーターへの接触

リボンセパレーターのエッジは鋭利になっていますので、触れないでください。けがをするおそれがあります。



屋外での使用

屋外では使用しないでください。故障の原因になります。



プリンターの廃棄

プリンターを廃棄するときには、廃棄物管理表（マニフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、お買い求め先にご相談いただくか、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は、（社）全国産業廃棄物協会に用意されています。



動作中のカバーの開閉

プリンターのカバーは動作中に開けないでください。けがの原因になります。

注意



電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- コンセントを別にする

目次

はじめに

重要なお知らせ	i
規制、対策などについて	i
プリンターを安全にお使いいただくために	iv

第1章 お使いになる前に

製品の内容	1-2
使用上のご注意	1-3
設置場所について	1-3
電源について	1-4
各部の名称とはたらき	1-5
装置外観	1-5
印刷機構部のはたらき	1-7
プリンターを設置する	1-8
設置手順	1-8
輸送用テープの取り外し	1-9
添付品の取り出し	1-10
プリンターの固定	1-10
フェンスの取り付け	1-11
パソコンとの接続	1-12
電源コードの接続	1-13
電源の投入と切断	1-14
電源を投入する	1-14
電源を切断する	1-15
省電力モード	1-15
リボンの取り付け・取り外し	1-16
リボンの取り付け	1-16
リボンの取り外し	1-21

第2章 プリンターの機能とその使い方

操作パネルの機能	2-2
操作パネルのスイッチとランプ	2-2
印刷モードの変更方法	2-4
表示パネル	2-5
設定モード	2-6
設定モードの変更方法	2-6
設定モード項目	2-8

第3章 用紙のセットと交換

印刷用紙のセット	3-2
印刷用紙の交換	3-7
用紙厚の調整	3-9
印刷位置の調整	3-10
印刷開始位置の調整	3-10
用紙の上下方向の調整	3-11
用紙の左右方向の調整	3-13
用紙張力の調整	3-16

第4章 用紙について

使用できる用紙について.....	4-2
連続帳票用紙.....	4-3
一般用紙（複写紙を含む）.....	4-13
ラベル用紙.....	4-15
とじ孔の開けかた.....	4-18
プレプリント用紙を使用するとき.....	4-19
取り扱い上のご注意.....	4-20
再生紙の利用について.....	4-21
再生紙の特徴.....	4-22
使用できない用紙.....	4-24
帳票設計時のご注意.....	4-26
印刷禁止区域および印刷非推奨区域.....	4-27

第5章 保守と点検

リボンの点検.....	5-2
リボンの交換.....	5-3
用紙ジャムの修復.....	5-4
リボンジャムの修復.....	5-6
プリンターがうまく動かないとき.....	5-8
故障箇所の診断.....	5-8
エラーコードとその対応.....	5-9
こんなときには.....	5-10
テスト印刷.....	5-14
清掃方法について.....	5-15
リボン走行路の清掃方法.....	5-16
用紙走行路の清掃方法.....	5-18
用紙収納部の清掃方法.....	5-20
その他.....	5-21

付録

プリンターの概略仕様.....	A-2
印刷品質.....	A-3
外観図.....	A-4
標準外観図.....	A-4
インターフェース仕様.....	A-5
5577制御コード.....	A-8
5577制御コード一覧.....	A-8
5577制御コードの概要.....	A-11
5577制御コード解説.....	A-13
5577漢字コード表.....	A-28
ESC/P制御コード.....	A-44
ESC/P制御コード一覧.....	A-44
ESC/P文字コード表.....	A-47
制限事項.....	A-55
消耗品の廃棄について.....	A-57